

ヤマブドウ栽培の推進に係る取組みについて

岩手県 千厩地方振興局 農林部 林務課
林業改良指導員 横山 理佐子

1. 課題を取り上げた背景および調査の目的

千厩地方振興局は岩手県の南端に位置する4町2村（大東町、藤沢町、千厩町、東山町、室根村、川崎村）を管轄しており、面積約72,000ha、人口約6万1千人である。森林面積は約48,000ha（森林率66%）で、東磐杉や東山赤松に代表されるように古くから林業が盛んに行われてきた地域であり、中でも昭和40年代から本格的に生産が始まった『乾しいたけ』は地域の主要な産業の1つであり、全国的に見ても質・量ともトップクラスの評価を得ている。

しかし近年、乾しいたけ産業をとりまく環境が厳しくなっている中、当管内でもその生産量が伸び悩んでおり、加えて減反政策による遊休農地の利用率が71%と県平均89%を18%も下回り、その利活用が大きな課題となっている。

そのような中、岩手県林業技術センターによる*^注「ヤマブドウ現地適応化栽培試験」が実施されることになり、当管内でも室根村（平成12年度）、東山町（平成13年度）、大東町（平成14年度）で行われることとなった。

これを契機に、乾しいたけに続く新たな特産品として、また、遊休農地の利活用の一つとして、ヤマブドウ栽培の普及の可能性について調査することとした。

2. 取組み方法及び経過

（1）管内試験地の経過観察及び栽培管理の指導

仕立て方法は2m高の支柱に地上70cmの高さから番線を4本張った垣根仕立てにし、1列10本植栽の5列（支柱間5.5m、列間3.0m、0.05ha）を基本に10系統50本を植栽した。植栽の際は施肥（堆肥等）をし、オス木が均等に配置されるよう、また、系統毎に集中しないよう混植した。（写-1）

植栽1～2年目（東山町及び大東町試験地）の栽培管理は「苗木自体に樹勢をつける」ため、誘引・結束してできるだけ枝条を伸ばすことに努めるとともに、まめに除草するよう指導した。

また、ヤマブドウは一般的に植栽3年目から結実すると言われていることから、室根村試験地では「実をならせるための栽培管理」を行った。具体的には誘引・結束、摘心、夏期剪定と栽培種に準じた薬剤散布、除草について指導し、秋に収穫及び収量調査を行った。



写-1 ヤマブドウ現地適応化栽培試験地（室根村）

(2) 管内に自生しているヤマブドウの調査

林業技術センターが県内各地から60系統収集した中には当管内からも2系統採集されているが、他にも優良系統が潜在している可能性があること、それを挿し木増殖すれば今後栽培面積を増やしていく上での選択肢が広がること、地域住民の優良自生種に対する期待も大きいこと、地元産の品種で地元のオリジナル商品を開発すればPR効果を生むこと等から、管内7箇所から自生種の果実を採取し収量調査を行い、現地適応化栽培試験の調査結果と比較検討した。

(3) ヤマブドウ果実を使った加工品の試作及びその評価

自生種の調査で収穫した果実を使い、図書を参考に森林組合婦人部の協力を得てジュースとジャムを試作した(写-2~7)。これらの加工品について、各種イベントを利用し、パンにジャムをつけて提供するなどして一般参加者に試食してもらい、アンケートに答えてもらった。



写-2 下準備
軸から果粒を外し、軽く水洗いした後、鍋に入れ、火にかける。



写-3 ジャム作り①
火からおろし、果粒から果実分を濾し取る。



写-4 ジャム作り②
砂糖を加えて煮詰める。



写-5 ジュース作り①
果粒をつぶす。



写-6 ジュース作り②
濾紙で濾過したブドウ液に砂糖を加えて火にかける。



写-7 試作品
滅菌した瓶に入れ保存する。
(手前) ジャム
(奥) ジュース

〔参考図書：矢住ハツノ著「家庭でつくるこだわり食品4 くだもの」
：吉田企世子・横山伸子著「季節を楽しむ手作り食品」〕

3. 結 果

(1) ヤマブドウ現地適応化栽培試験について

ヤマブドウは地域性が大きい作物といわれているが3試験地とも活着がよく、目立った病虫害も出ず順調に生育しており、県内で最も生育が良いとの評価を得ている。

今年度は4月下旬から5月上旬にかけて2～3度霜がおり、せっかくついた花芽が霜枯れした。霜害の程度に差はあったものの、室根村、東山町試験地共にすべての苗木に被害が見られた（※大東町試験地は6月に植栽）。

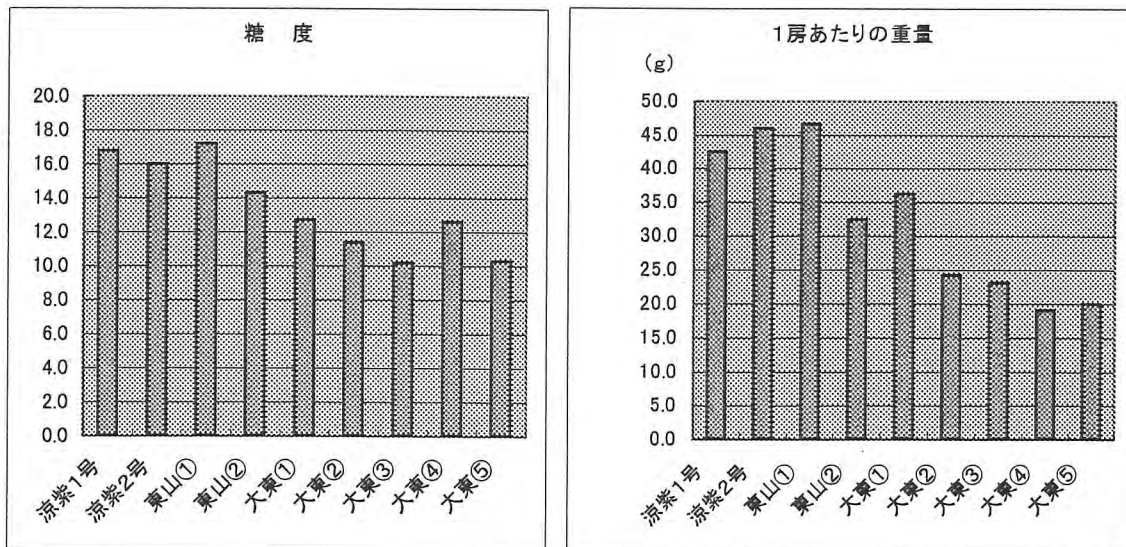
しかしその後、幾らかは回復或いは新たに芽が出るなどして、室根村試験地と東山町試験地で結実が見られた。各試験地の状況については表－1のとおり。

表－1 ヤマブドウ現地適応化栽培試験結果（平成14年度）

試験地	植栽本数（本）			枯死本数 （本）	活着率 （％）	着房本数 （本）	着房数 （房）	収量 （g）	糖度
	メス	オス	計						
室根村	44	6	50	5	90	18	184	2,920	15.0
東山町	40	10	50	9	82	6	42	815	17.0
大東町	40	10	50	1	98	—	—	—	—

(2) 管内に自生しているヤマブドウについて

東山町2箇所、大東町5箇所の計7箇所から自生種の果実を採取し、1房あたりの重量、着粒数、糖度等を測定したところ、県林業技術センター選抜の優良系統（涼紫1号、2号）と同等の成績が得られたものがあった（図－1、2）。



(3) ヤマブドウ果実を使った試作品とその評価について

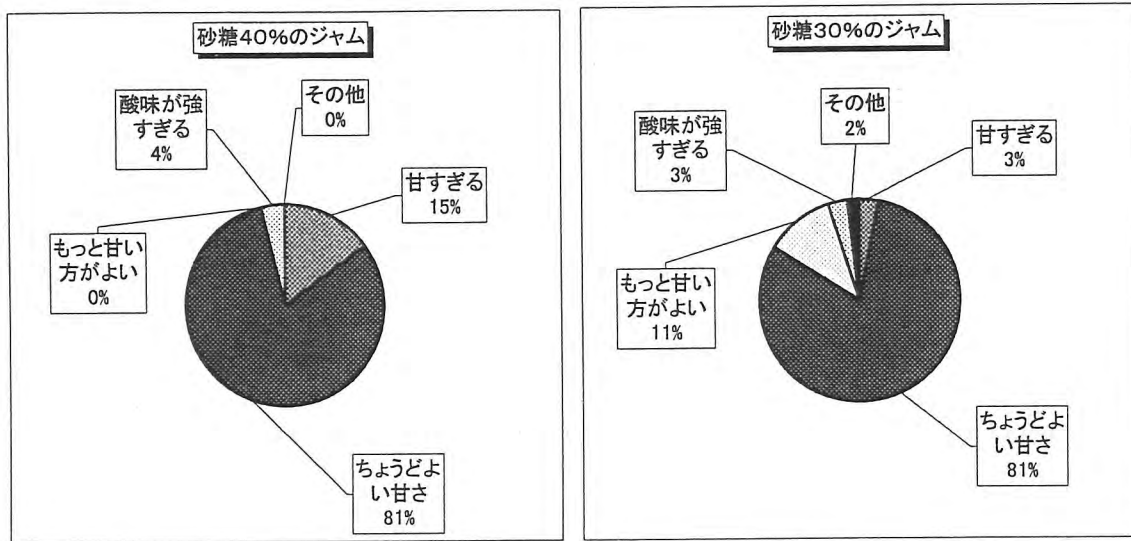
試作品に使用した果実の重量と製品の量は表－2のとおり。

表-2 ヤマブドウ加工品に使用した果実について

	果粒重量 (g)	ジュース (cc)	ジャム (g)
第1回	7,200	2,500	1,200 : 砂糖 40% (果粒重比)
第2回	6,700	2,300	1,200 : // 30% (//)

試作品のジャムを各種イベントで試食してもらったところ、その評価は「ちょうどよい甘さ」と答えた人が大多数であった。(図-3、4)

Q: ヤマブドウジャムの味はいかがでしたか。



また、ヤマブドウを使った加工品で食べてみたいものを聞いたところ、結果は表-3のとおりであった。

表-3 ヤマブドウ加工品に関する嗜好調査結果

Q: ヤマブドウの加工品で食べてみたいものは次のうちどれですか。(複数回答)

品目	第1回	第2回	計	
			(人)	(%)
アイスクリーム	26人	25人	51	30
ソフトクリーム	13	12	25	15
ジャム	18	6	24	14
ヨーグルト	16	6	22	13
ジュース	9	7	16	9
クッキー	8	7	15	8
乾しぶどう	6	4	10	6
プリン	4	5	9	5
計	100人	72人	172人	100%

4. 考 察

(1) 当管内での3試験地での生育状況及び果実の収量状況を他管内の試験地(35箇所)と比較してみた結果、いずれも良好な成績であり、また、気象面から岩手県内の主なヤマブドウ産地と比較してみても十分栽培できる環境条件にあり、その栽培の可能性がうかがえた。

今後も収量を上げるために適切な栽培管理が必要であることから、これまでの取組みを踏まえ、栽培者の管理技術の向上を支援していく。

(2) 今後とも自生種の調査を引続き行うとともに、林業技術センター選抜の優良系統と同等であったものについては継続して調査を行い、挿し木による増殖も検討していきたい。

(3) ヤマブドウは比較的手がかからず、簡易な設備で栽培でき、健康食品としても評価が高い上に昔から馴染みのある『山の幸』であることから、栽培には取組みやすい作物であり、現地適応化栽培試験の導入によってヤマブドウに対する関心が高まってきている。現地適応化栽培試験実施組合では栽培面積を拡大する計画があり、また、大東町では中山間等直接地域支払制度を活用して講師を招いてヤマブドウ講習会を開催し、山取りの苗から独自に挿し木で苗木を生産して本格的に栽培に取り組んでいる集落もある。さらに、東山町には庭先栽培している農家が数件あり、室根村にはヤマブドウを使った菓子を製造・販売したことのある菓子店がある中、ヤマブドウに対する期待が徐々に高まってきている。

このような状況のもとで栽培を推進していくためには、『売れる商品』を開発していくことが必要であり、今後も森林組合婦人部と協力して加工品を試作し、地元のオリジナル商品の開発を目指して取り組んでいきたい。

***注 「ヤマブドウ現地適応化栽培試験」**

岩手県林業技術センターが県内各地から採取したヤマブドウ自生種60系統のうち、さらにその中から特性の優れた10系統（糖度が高い、着粒数が多い等）を選抜し、それらについて県内各地での適応性について調査するものである。試験期間は平成12年度～平成17年度までで（表-4）、現在県内38箇所25市町村で実施している。（図-5）

栽培試験者は市町村、森林組合等法人、3名以上の団体（個人は不可）で、県が苗木（10系統50本）及び栽培技術を提供し、栽培試験者が試験地及び設備を提供、維持管理することで協定を結んでいる。なお、試験終了後は苗木もろとも、栽培者に帰属する。

図-5 ヤマブドウ現地適応化栽培試験地位位置図

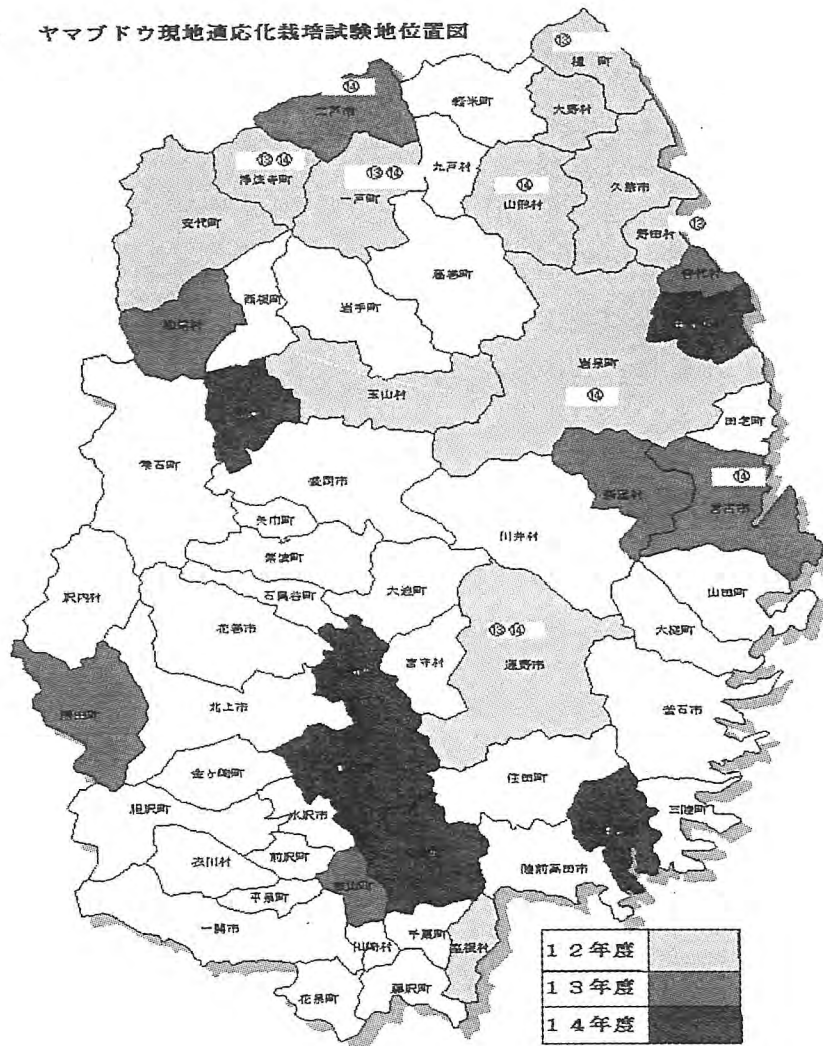


表-4 ヤマブドウ現地適応化栽培試験期間の取組みについて

区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
12年度	苗木植栽	栽培管理	結実調査	結実調査	結実調査	結実調査
13年度		苗木植栽	栽培管理	結実調査	結実調査	結実調査
14年度			苗木植栽	栽培管理	結実調査	結実調査